



Shell Stamina Grease HDS

シェル スタミナ グリース HDS

ーワイドレンジ・長寿命・極圧合成油グリースー

シェル スタミナ グリース HDS は、酸化安定性に優れた高粘度合成油をベースに、特殊ウレアを増ちょう剤とする、ワイドレンジ・長寿命・極圧グリースです。

シェル スタミナ グリース HDS は、厳選された極圧剤を含む各種添加剤を配合した高級極圧グリースで、高温・高荷重で使用されるころがり軸受、すべり軸受等だけでなく、風力発電装置のような低速・高荷重の大型機器や、定期的なメンテナンスの難しい場所にあるモーター軸受をはじめとした各種設備の潤滑に優れた性能を示します。

使用温度範囲：－40 ～ 180℃

■シェル スタミナ グリース HDS の特徴

1. 耐熱・長寿命グリースです

シェル スタミナ グリース HDS は、耐熱性、酸化安定性に優れていますので、従来の鉱油系ウレアグリースと比較して、更なる長寿命グリースとして給油量の削減、メンテナンスの延長が期待出来ます。

2. 低温特性が優れています

シェル スタミナ グリース HDS は、低温性に優れた合成基油を使用していますので、これまでの鉱油系グリースでは適応の難しかった－30℃以下の条件でも優れた性能を発揮します。

3. 耐荷重性能が優れています

シェル スタミナ グリース HDS は、最新の配合技術を応用した極圧添加剤を配合していますので、鉄鋼設備や製紙機械、建設機械、セメント工場などの大型設備機器の過酷な潤滑箇所でも、優れた潤滑性能を発揮します。

4. 耐水性・機械的安定性・防錆性が優れています

シェル スタミナ グリース HDS は、グリースの基本性能である耐水性や機械的安定性、防錆性のいずれも優れた性能を有していますので、水の混入やせん断条件の厳しい使用環境でも良好な潤滑性を維持することが可能です。

5. 低温・高荷重領域での油膜切れを防ぎます

シェル スタミナ グリース HDS は、高粘度の合成油基油を使用していますので、風力発電や建設機械のような低速・高荷重の運転条件でも潤滑面の直接接触を防ぎ、優れた潤滑性を維持します。

(※) シェル スタミナ グリース HDS の使用実例

- ・ 風力発電設備の主軸、回転軸等
- ・ 鉄鋼、製紙、セメント工場等の大型低速軸受
- ・ 建設機械、塗装ラインのブロワーやコンベア 等など

シェル スタミナ グリース HDS 代表性状				
試験項目		試験方法	シェル スタミナ グリース HDS	
増ちょう剤			ウレア	
外 観			淡茶色	
原料 基 油	タ イ プ		合成油	
	動粘度 mm ² /s	@40℃	JIS K 2283	460
		@100℃		-
	混和ちょう度		JIS K 2220 7.	300
滴 点 ℃		JIS K 2220 8.	254	
離油度 (100℃×24h) wt%		JIS K 2220 11.	1.0	

* 代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。(2016-03)

シェル スタミナ グリース HDS の 販売荷姿 ： 400g×20

■使用上の留意点

- ・給脂の際、機械の給脂口をきれいにし、新しいグリースを補給してください。出来るだけ機械を無負荷で運転しながら古いグリースが排出口などから出つくし、新しいグリースが出て来るまで十分に給脂してください。その後は、機械メーカーの指示を十分考慮し、定期的に給脂してください。
- ・石けん基の異なるグリースを混ぜると、性能低下がおこりますのでご注意ください。なお、同じ石けん基グリース同士の場合でも性能低下がおこることがありますので、異なる銘柄の混合使用はさけてください。
- ・グリースはゴミなどのコンタミネント(汚染物)が混入すると、取り除くことができません。そのまま使用した場合、軸受、ギヤなどの異常摩耗、破損の原因となりますので取扱いに十分注意するとともに容器の蓋をよく締め、直射日光のあたらない場所(屋内)に保管してください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向け国の法規等により輸入制限を受ける場合がございます。製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意

▼下記の注意事項に従ってお取扱ください。

《取り扱い上の注意》

- | | |
|--------|--|
| 【安全対策】 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。 ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 |
| 【応急措置】 | <ul style="list-style-type: none"> ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で充分に洗うこと。 |
| 【保管】 | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。 |
| 【廃棄】 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。 |

Rev.2. 2019.2.1